

自動車セグメント 収益挽回に向けて

住友電気工業株式会社
副社長 西田 光男
2022年11月17日

自動車セグメント 業績推移

<全社に占める営業利益比率>

営業利益
(億円)

1,000

500

0

15年度

16年度

17年度

18年度

19年度

20年度

21年度

22年度
中間公表

887

986

968

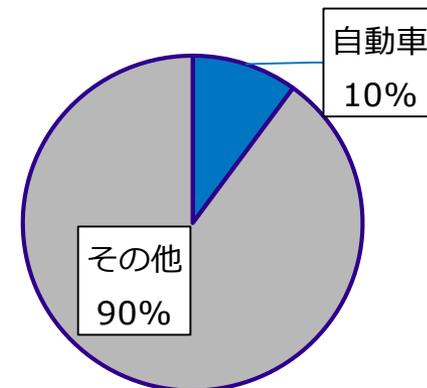
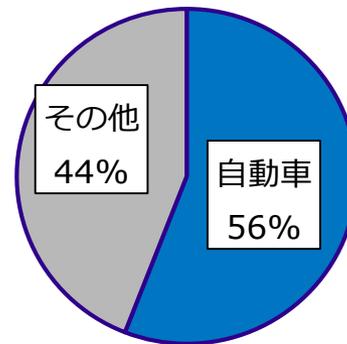
847

682

482

123

390



22年度下期 重点課題

1

Profit
貢献

- 足元業績からの収益挽回
海上運賃・資材価格高騰に対する顧客交渉、
下期の顧客需要回復を確実に捕捉
- 資産効率の徹底
棚卸資産圧縮、設備投資の厳選
- 既存事業の確実な収益確保

2

Reliability
向上

- モノづくり力の更なる強化
- CASEに対応したOEMとのパートナー関係強化

3

Originality
発揮

- 既存ハーネス事業のダントツ技術強化、深耕
- モノづくり革新
- 住友流の仕事のやり方深化(働き方改革、DX推進)

25年・30年 売上目標(ハーネス)

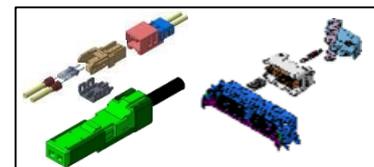
(億円/年)



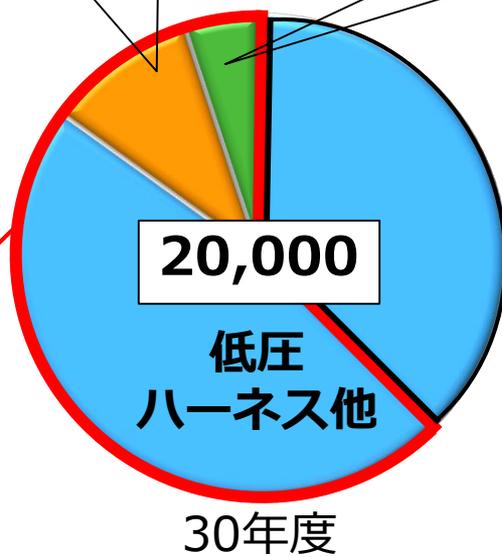
電動化
(高電圧対応部品)



コネクティッド
(高速通信部品)



電動車向け
売上



Gas車向け
売上

- ・ 30年に向けて市場全体で電動化率が高まることに追従し、**当社売上も電動車向けが拡大。**
- ・ 主力である既存ビジネス(低圧ハーネス他)の拡充に取り組むとともに、**CASE関連製品(電動化・コネクティッド)の拡販にも注力。**

収益挽回に向けて

以下 3 つの戦略で収益挽回に取り組む

1

**コア技術深化による
既存ビジネスの拡充**

2

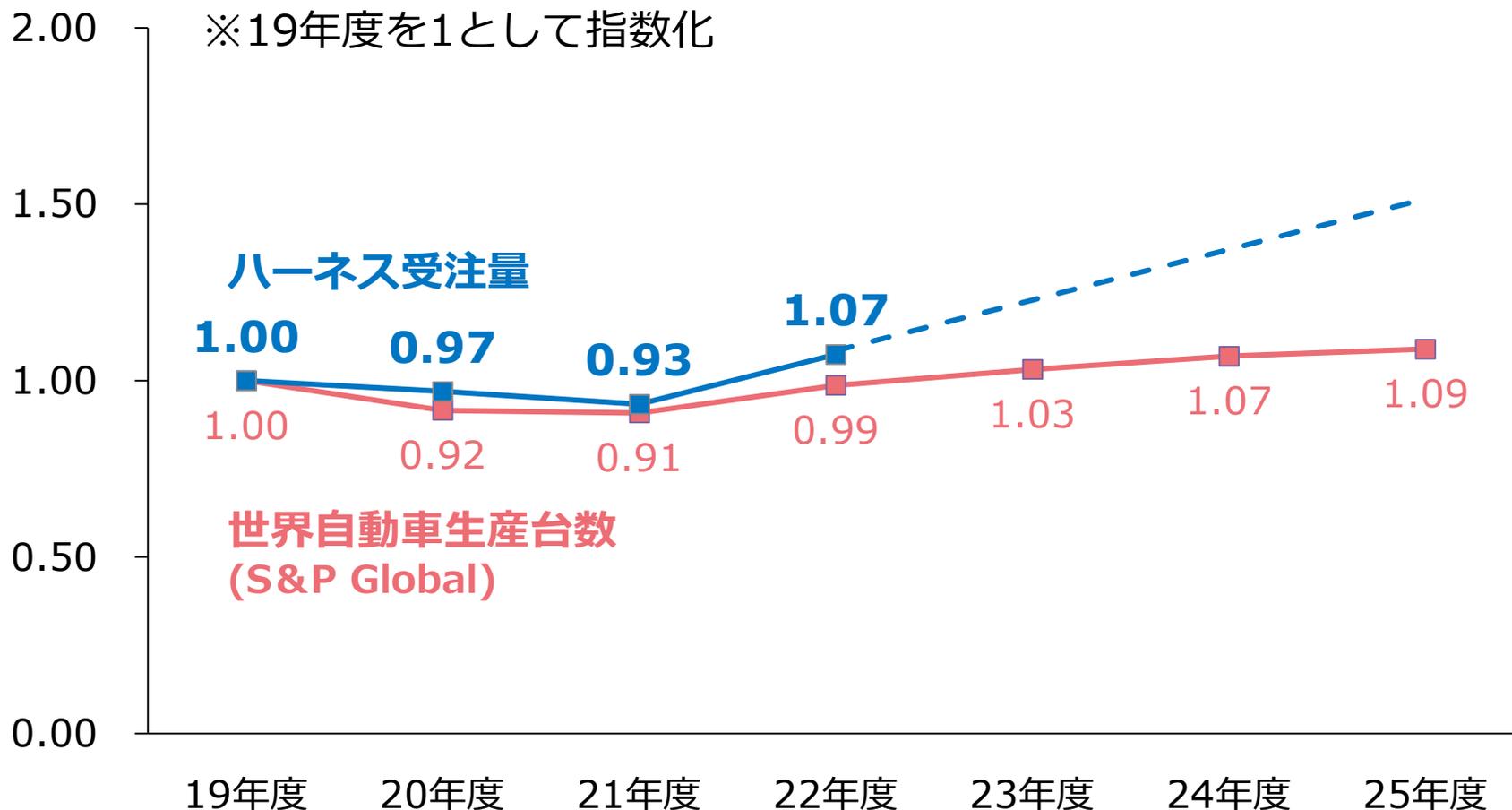
CASE関連製品の拡販

3

グループ総合力の発揮

1.コア技術深化による 既存ビジネスの拡充

自動車生産台数とハーネス受注量の推移



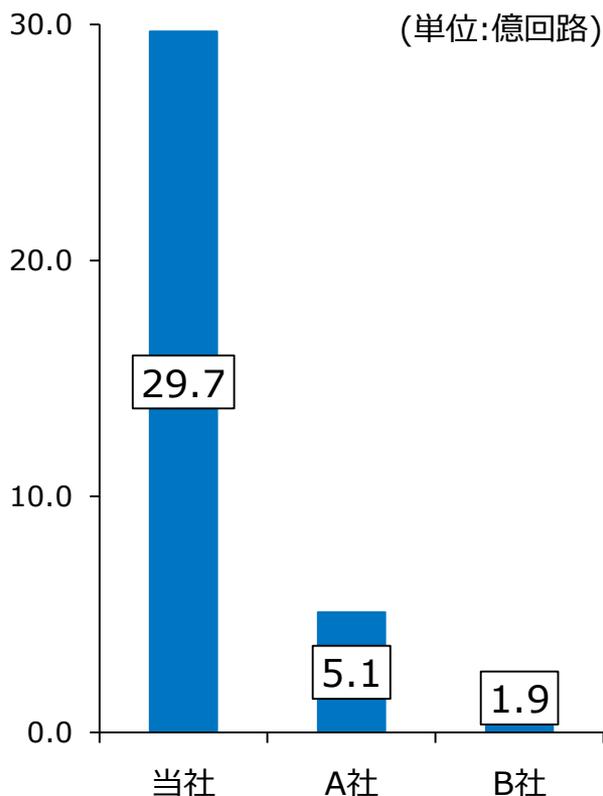
ハーネス受注量は市場の伸びを上回るペースで増加の見通し

アルミハーネスの普及

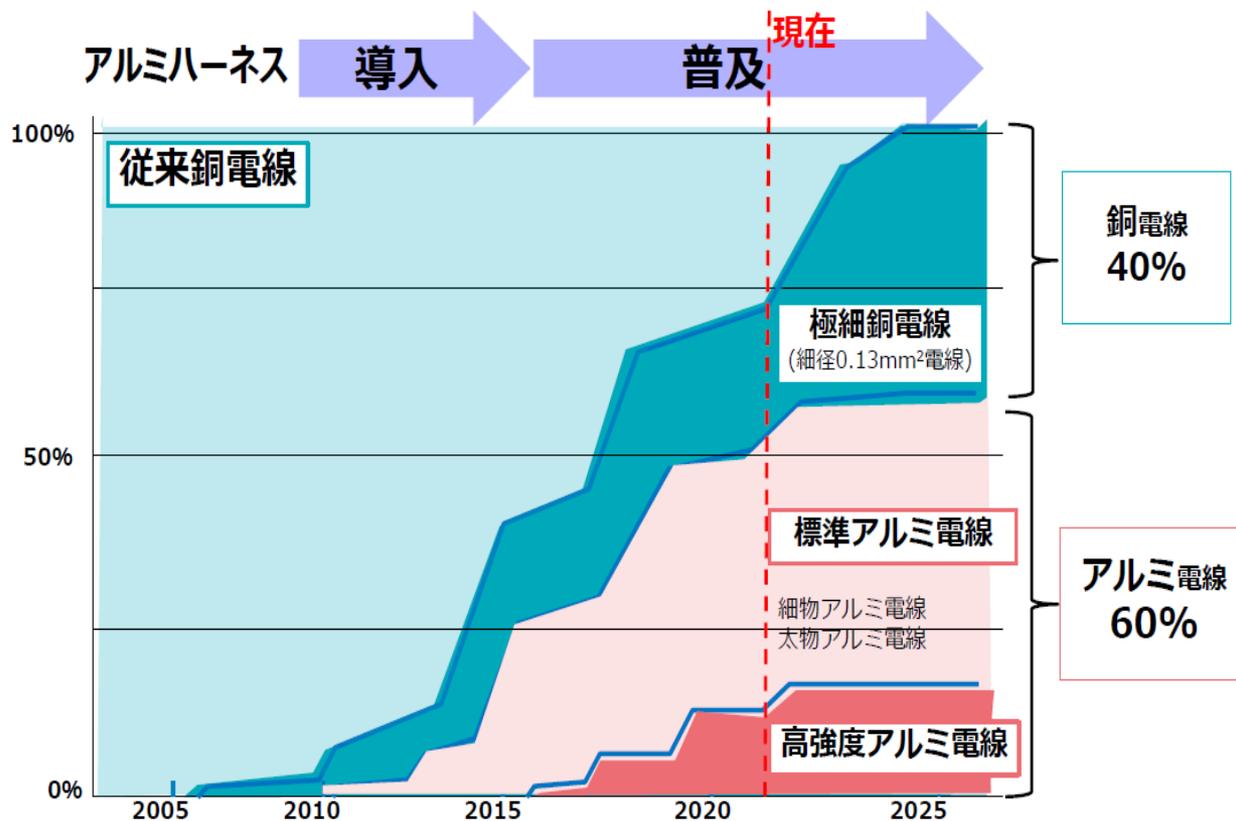
【普及の条件】 ①使用実績 ②安価 ③既存部品流用

■ アルミ累計搭載回路数

(2010-2021年累計値:当社試算値)



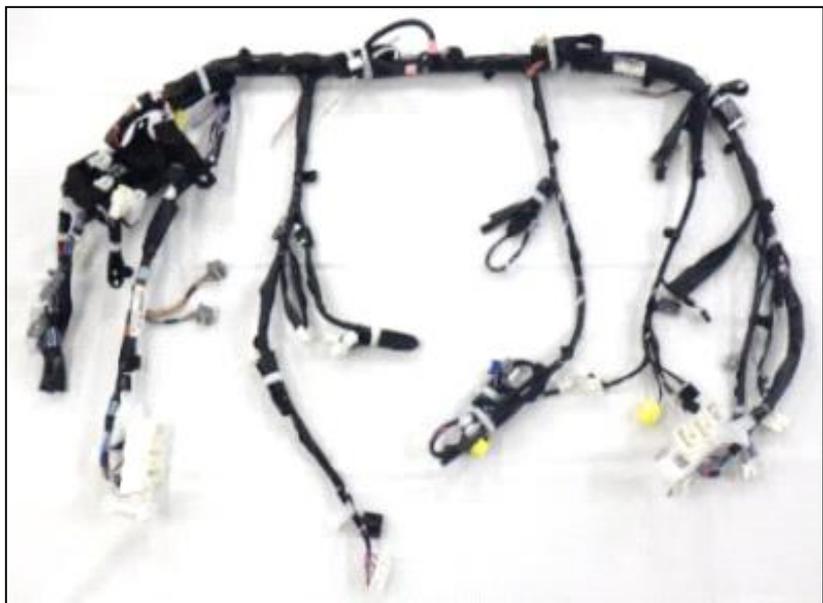
■ ハーネス回路割合 推移 (日系OEM 新規立上り車種)



2030年に向け更に拡販、デファクトスタンダード確立

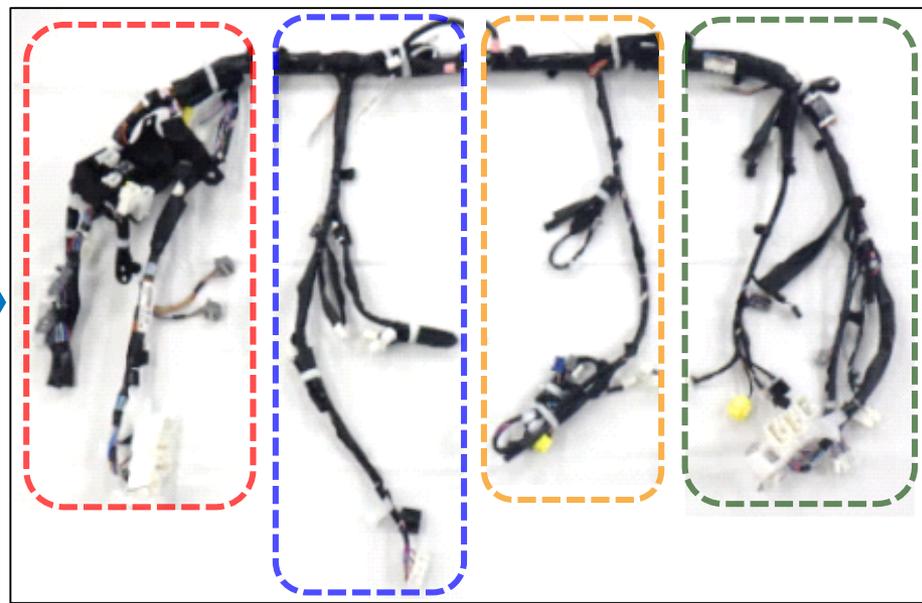
モノづくり革新 -分割ハーネス-

既存一体型ハーネス



【250品番】

分割ハーネス(4~5分割)



4品番

4品番

4品番

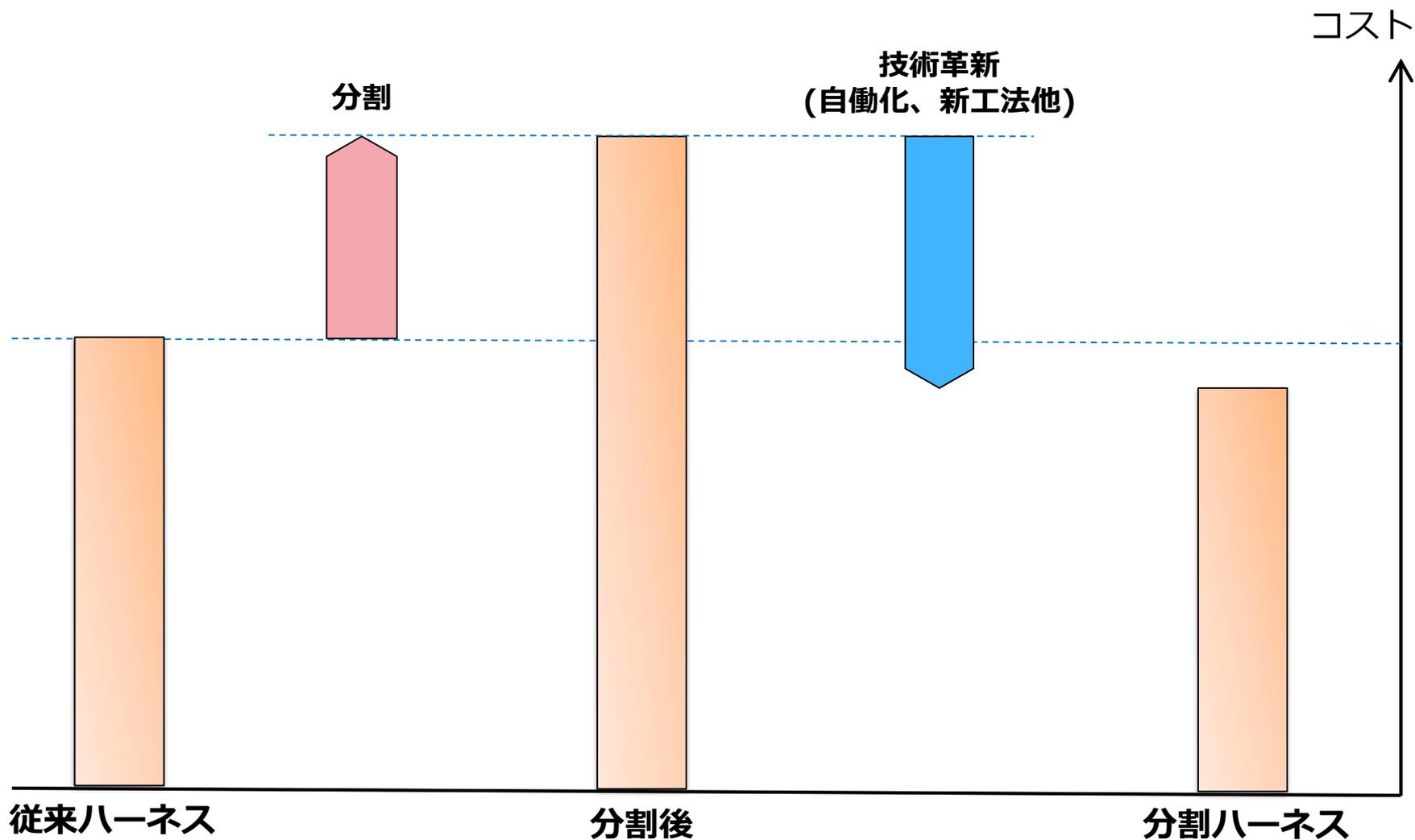
4品番

【16品番 → 256品種】

<分割ハーネスのメリット>

- ① 自動化しやすいシンプル形態
- ② 少ない品番で多品種対応可能
- ③ 一極集中生産回避で **リスク対応**、**地産地消**

従来ハーネスと分割ハーネスのコスト比較



分割でコスト増も、技術革新でトータルコスト減

2.CASE関連製品の拡販

CASE関連製品の拡販 -電動化-

強み技術：インフラ/通信/エネマネ、配索搭載、熱マネ、低高周波ノイズ、振動・揺動

充電/インフラ



電池周辺部品

赤字：量産済



モータ・インバータ接続部 (e-Axle)



高圧ハーネス/コネクタ



インフラ～車内の電動システム全体を俯瞰し開発を推進
30年 新製品売上目標 2,000億円

CASE関連製品の拡販 -情報・コネクティッド-

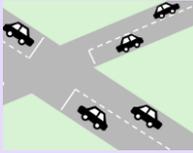
強み技術：インフラ連携、ノイズ、車載搭載技術

<目指す社会>

事故ゼロ



渋滞ゼロ



自由な移動



分散ルート案内

クラウド/インフラ/サービス

赤字：量産済

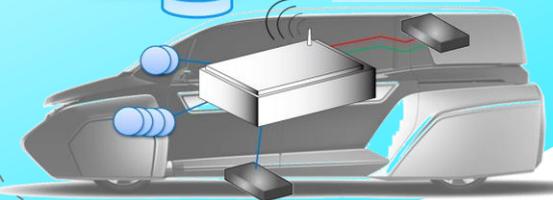


5G信号機
インフラセンサ
交差点エッジ



CLOUD

プローブ情報

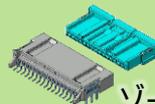


高速通信ハーネス

多極+高速通信モジュール



大電流&高速通信コネクタ
高速通信ハーネス



ゾーンECU用
小型コネクタ

エレクトロニクス製品



車載エッジ



拡張ユニット



ゾーンECU

快適な社会を実現するために、サービスから個別部品まで一貫した開発を推進
30年 新製品売上目標 1,000億円

3.グループ総合力の発揮

グループ総合力の発揮

エネルギー



家庭用蓄電池



巻線

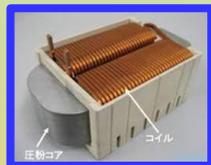


充電コネクタ



磁性部品

融合領域



リアクトル



バスバーモジュール



高圧ハーネス/コネクタ



低圧ハーネス/コネクタ



車載ECU



車載ゲートウェイ



路車協調実証

コミュニケーション



FPC



10G端末



高速通信



光通信



交通管制

モビリティ

融合領域への新たな取り組み

エネルギー

家庭用蓄電池

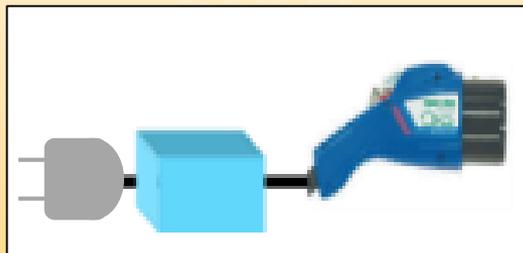
巻線

磁性部品

充電コネクタ

融合領域

エネルギーマネジメントシステム



充放電器

MaaS車 拡張プラットフォーム



拡張ユニット

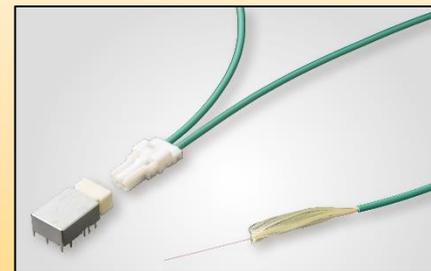
コミュニケーション

次世代ネットワークECU



高速通信ユニット

光通信システム



光ハーネス

リアクトル

FPC

10G端末

バスバー
モジュール

高速通信

車載ゲートウェイ

路車協調実証

光通信

交通管制

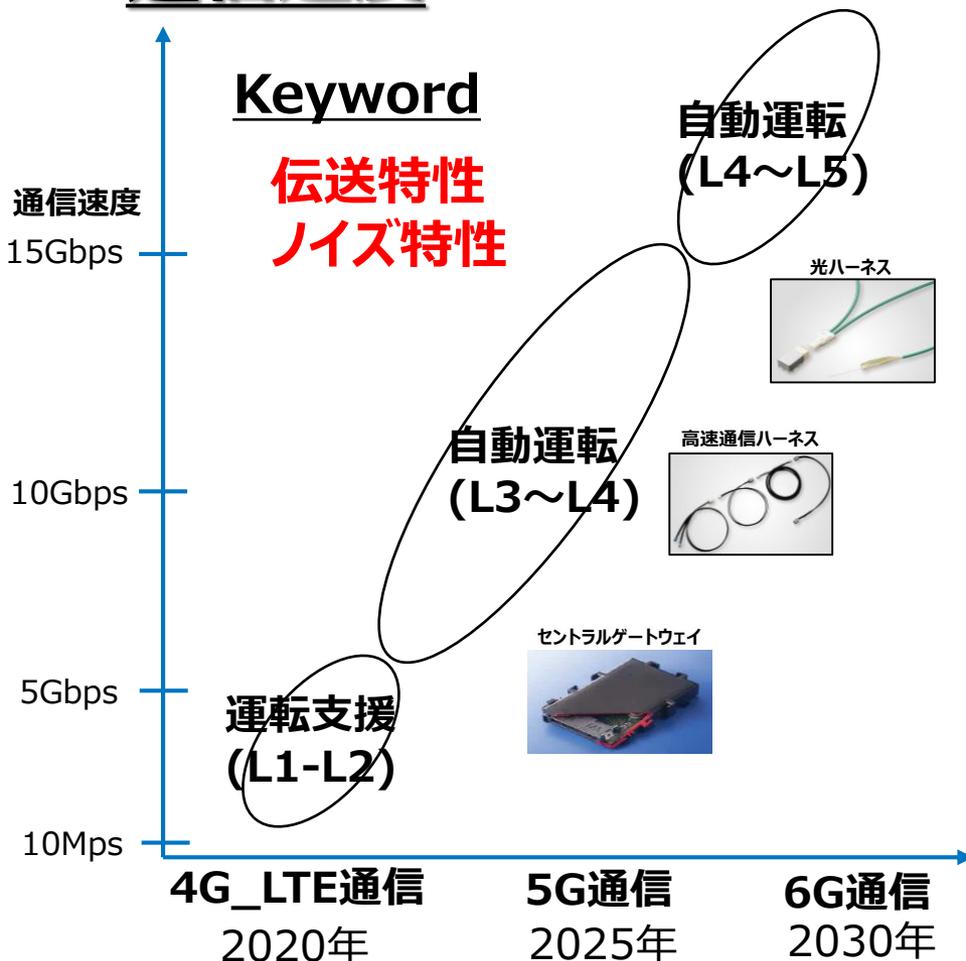
車載ECU

高圧ハーネス/コネクタ

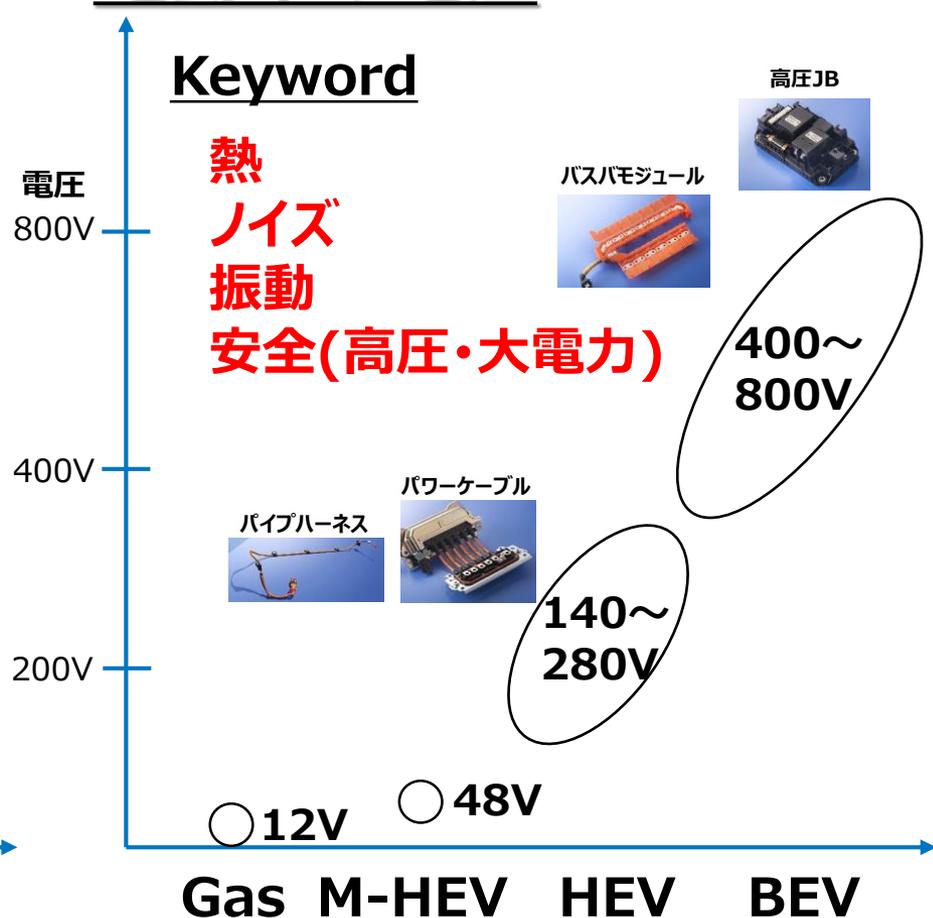
低圧ハーネス/コネクタ

CASE関連ビジネスの拡大

通信速度



電動車の電圧



通信速度が速くなるほど、電圧が高くなるほど住友電工の強みを発揮

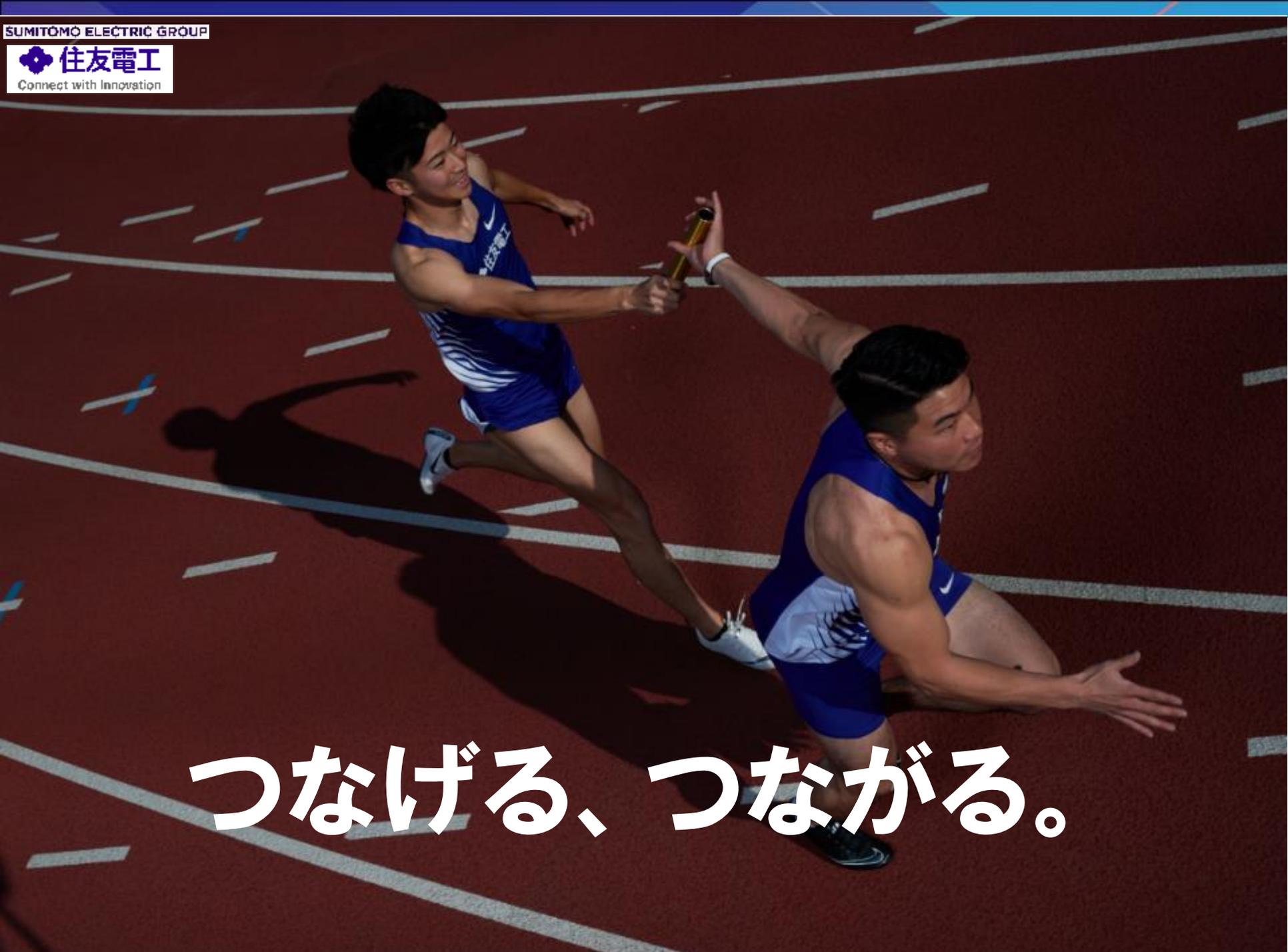
2030年 ありたい姿

[メッセージライン]

モビリティの「つなげる」パートナーとして
「つながる」ビジネスの拡大を目指す

[取組みのキーワード・キーセンテンス]

- **既存ビジネスでの確実な収益確保**
 - ・ アルミハーネス
 - ・ モノづくり革新(新設計思想、新工法)
- **電動化・コネクティッド領域でのビジネス拡大**
 - ・ グループ総合力の発揮
- **OEMとのパートナー関係強化**



つなげる、つながる。



Connect with Innovation

<https://sumitomoelectric.com/jp/>